

東日本大震災の被災地支援 イオン心をつなぐプロジェクト「語り部の会」の開催について

イオン北海道株式会社は、11月29日（水）にイオン北海道本社にて、北海道のイオングループ（イオン北海道㈱・マックスバリュ北海道㈱）の従業員約600名を対象に、東日本大震災で被災された方の体験談を伺う「語り部の会」を開催します。



＜昨年の語り部の会の様子：語り部 福島県いわき市 大谷 慶一さん＞

「語り部の会」は、東日本大震災の被災者から実際に体験談を伺い、私たち従業員にできることを考え実行するきっかけとなることを主たるねらいとして開催し、今年で4年目を迎えます。今後も長期的な支援を必要とする被災地の現状を知り震災の風化を防ぐこと、自分たちにも起こりうる自然災害に備え今からできることを考えるなど、防災意識を高めるきっかけとすることも兼ね備えております。

今年度は、福島県から浪江まち物語つたえ隊の八島さん、石井さんの2名をお招きし、ご講演いただきます。また、より多くの従業員が参加できるよう、会場とイオン北海道の各店をテレビ会議システムでつなぎ、口演の様子を全店舗へ生中継で配信いたします。

イオンは、2012年から労使一体で被災地域のボランティア活動、植樹活動を進める「イオン心をつなぐプロジェクト」を発足し、2016年度までに、被災地沿岸部に約20万本を植樹、約24万人の従業員が被災地支援に参加しております。一日も早く復旧・復興を果たそうとされている東日本大震災被災地の皆さまに寄り添い、グループ従業員が一丸となり、さまざまな形で東北地域での環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

イオン北海道はイオングループの一員として、被災地の復興支援、および「夢のある未来の実現」に向けて今後もさまざまな取り組みを継続してまいります。

【開催概要】

日 時：2017年11月29日（水）①10時00分～11時30分
②13時00分～14時30分

場 所：イオン北海道株式会社 本社3階 A・B会議室

参加人数：本社口演会場 150名（予定）

他、テレビ会議システムにて450名（予定）

参加企業：イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社

協 力：福島県北海道事務所、ふくしま観光復興支援センター

語 り 部：福島県 浪江まち物語つたえ隊 八島さん、石井さん

「故郷を追われ絆を失うことを心配し、地元に残る昔話と、震災以降に生まれたまち物語を紙芝居にし、県内の浪江町住民避難先などを中心に上映会を行っています。県外では、原発事故を風化させないため紙芝居・アニメと資料で『浪江町の現状』を伝えています。」

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道㈱ 総務部広報グループ 佐藤・山崎

電話：011-865-9111